

赤 沢

嘉 則

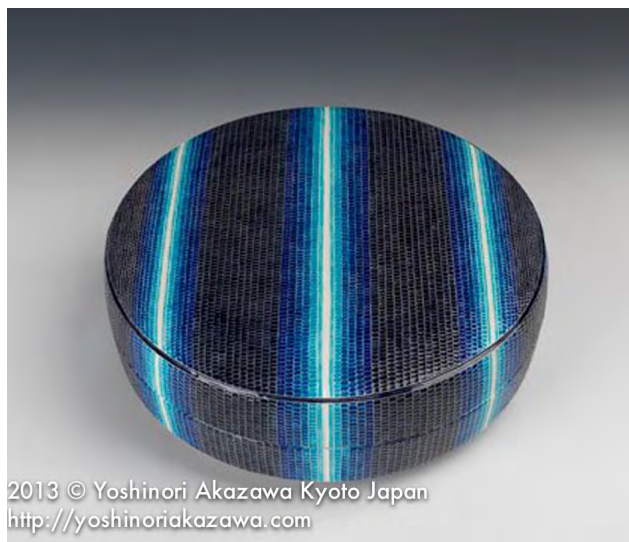
Y A

WORK

2014 『CERÁMICAS DEL MUNDO』

アルコラ陶芸美術館の近代陶磁コレクション

カステリオン美術館（カステリオン, スペイン）



2014 日本画個展『花の花』

ラクトギャラリー（京都）

京の日本画家・赤沢さん四季の花 カレンダー原画並ぶ 山科

季節ごとに見頃の花を描いた日本画が並ぶ会場

（京都市山科区・ラクトギャラリー）

京都市を拠点に活動する日本画家赤沢嘉則さん（42）＝山科区＝の作品をあしらった今年のカレンダーの原画展が、市営地下鉄山科駅構内のラクトギャラリーで開かれている。月ごとに旬の花を配した絵画12点を展示している。

府立植物園（左京区）で写生した正月のツバキに始まり、京都御苑（上京区）の晩春の山桜、天智天皇陵（山科区）のモミジなどを描いた作品が並ぶ。モナコにある日本庭園のアジサイを黄緑色の背景と組み合わせ、梅雨晴れの明るい陽光を表現した原画もある。

赤沢さんは「季節やイメージにとらわれない配色で、花の魅力を引き出した」と話す。26日まで。

（森大樹）

京都新聞（市民版） 2014年（平成26年）1月21日（火）朝刊 20p



2013『第3回チュニジア国際陶芸シンポジウム』

チュニジア国立陶芸センター（チュニス、チュニジア）



2013『日本人作家による炎の芸術“ファエンツァ”』
 ファエンツァ国際陶芸展日本人歴代受賞作品展
 ローマ日本文化会館（ローマ，イタリア）



2011 赤沢嘉則の作品 ファエンツァ国際陶芸美術館コレクションより マルコーニビジネスラウンジ ボローニャ国際空港 （ボローニャ , イタリア）

美術館の陶芸の展覧会をボローニャ空港で

2011 年 9 月 14 日から 11 月 14 日まで

2011 年に、MIC(ファエンツァ陶芸国際美術館)は、ユネスコによって「モニュメントと平和のサイトの証人」における世界の陶芸の表現を見守っていることについて認定を受けました。旅行を通じ、世界中の慣習や言語、人間の文化価値体系のつながりを体験し証明することもできます。

あなたのこの旅行を祝福するための素晴らしい場所はこの空港のどこに？
ユネスコの認定の祝福と感謝の気持ちをこめてマルコーニ空港（ボローニャ空港）は、2011 年 9 月 14 日から 11 月 14 日にファエンツァ陶芸国際美術館の協力により、マエストロ赤沢嘉則の作品をいくつかマルコーニビジネスラウンジで展示します。



赤沢は 1971 年に日本の京都で生まれ、現在は京都に住んでいます。1995 年には、京都市芸術大学、美術、（芸術的な）日本画を卒業。1997 年には、京都府高等陶工技術専門校にかよいました。1998 年、彼は京都市産業技術研究所工業技術センター、セラミックコースを修了。

アーティストは、「プレミオファエンツァ-現代陶芸の国際コンクール」の最近の 3 つのエディションに入選しました（ファエンツァ 2007 、 2009 、 2011 ）。そして、ファエンツァのロータリークラブのメダル賞を 2009 年に受賞しました。
「マルコーニビジネスラウンジ」は、高浜和秀によってデザインされ、サイモンによって施行され、最も数多くの利用者であるビジネス旅客や企業に捧げられる「マルコーニ」に、空港はいつも特別な注意をはらっています。
赤沢の作品は午前 5 時から 21 時 30 分まで毎日一般に公開されています。

CERAMICHE DEL MUSEO IN MOSTRA
ALL'AEROPORTO DI BOLOGNA News online on
<http://www.micfaenza.org>

イタリア語より簡易翻訳



2011『日本×ファエンツァ やきものの現在（いま）』
イタリア文化会館（東京）



多治見市文化工房ギャラリーヴォイス（岐阜）



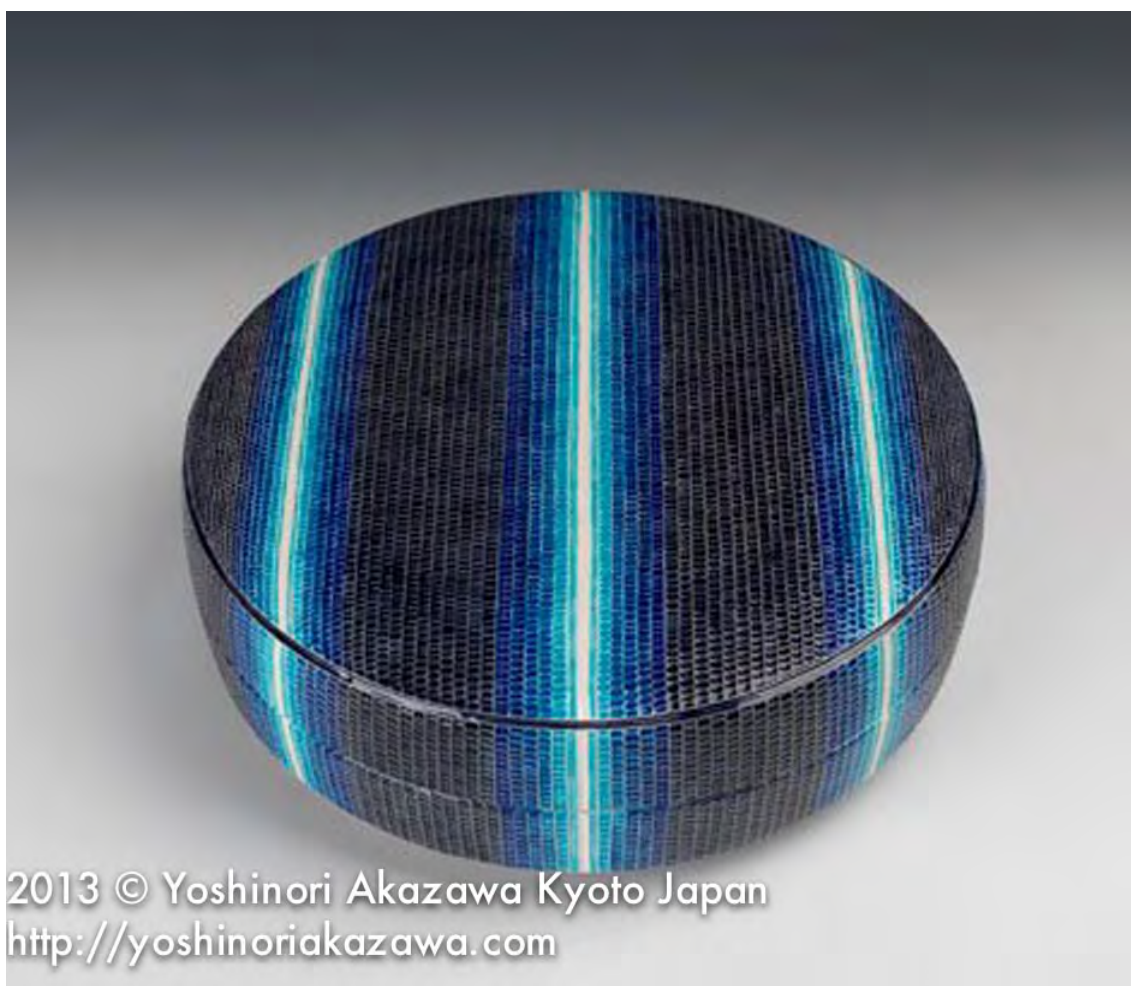
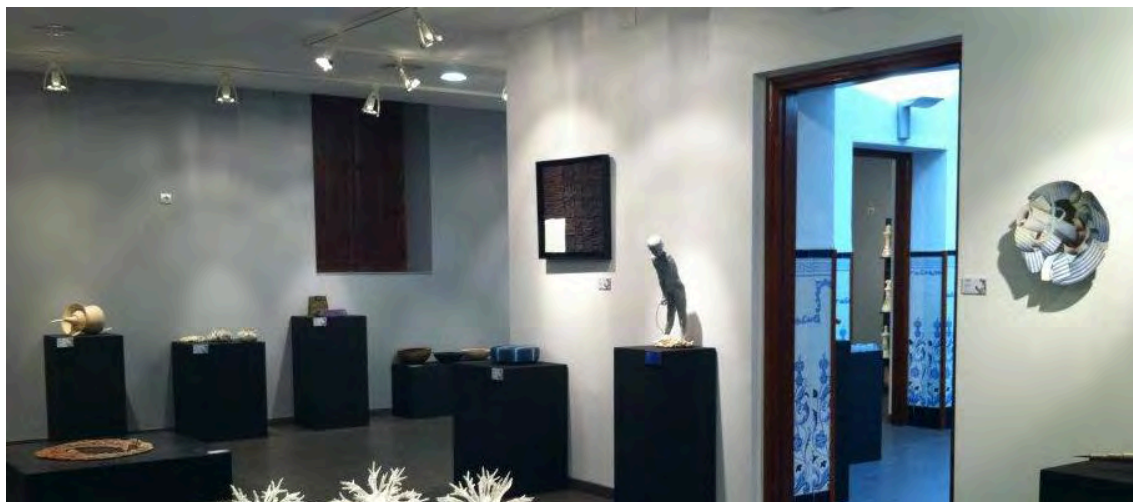
2013『第8回カプフェンベルグ国際陶芸ビエンナーレ』
カプフェンベルグ美術館（カプフェンベルグ, オーストリア）



2012『第 16 回アスプルガズ国際陶芸ビエンナーレ』
(アスプルガズ・ダ・リュブラガート, バルセロナ, スペイン)



2012 『第 32 回アルコラ国際陶芸展』
アルコラ陶芸美術館(アルコラ , スペイン)



2013 © Yoshinori Akazawa Kyoto Japan
<http://yoshinoriakazawa.com>

2011 『インターナショナルミクストエキシビション
ペインティング-スカルプチュア-セラミック』
ウシャク大学美術館（ウシャク，トルコ）



2011『第40回 日本伝統工芸近畿展』
滋賀県立近代美術館（滋賀）



2010『第11回ピラン国際陶芸展』Ex-tempore Piran 2010
ヘルマンパツアリツ ギャラリー(ピラン, スロヴェニア)



2009『第 56 回 ファエンツァ国際陶芸展』

ファエンツァ国際陶芸美術館（ファエンツァ，イタリア）



2009『第10回ピラン国際陶芸展』Ex-tempore Piran 2009
ヘルマンパツアリツ ギャラリー(ピラン, スロヴェニア)



2009 襖絵 15 面 制作 奉納

織田信長公 菩提寺 安土城跡 摠見寺（そうけんじ）（安土 滋賀）

摠見寺本堂を初公開 安土の摠見寺、今日から日・祝に

織田信長が創建し安土城跡に残る摠見（そうけん）寺（滋賀県安土町下豊浦）は、これまで非公開にしていた本堂を、5日から毎週日曜と祝日に特別公開する。同寺は室町時代の三重塔（重要文化財）や二王門（同）などが現存するが、本堂は嘉永7年（1854）に焼失した。現在の本堂は明治時代以降の建築で、隣に茶室がある。本堂には本尊の聖観世音菩薩像や、江戸時代の制作とみられる織田信長座像を安置している。公開に合わせ襖を新調し、西村恵信・前花園大学学長の禅画『十牛図』を張った襖や、山本燈舟・同寺執事の水墨画『安土八景』、日本画家赤沢嘉則さんの『老櫻』などの襖絵が見られる。安土城天守閣跡から発掘された金箔瓦なども展示する。加藤耕文住職は「地元や観光客から要望が多く、公開する事にした。茶室でお茶を楽しんでももらえれば」と話している。特別公開は安土城跡入山料500円の他に特別拝観料1000円が必要。対象は高校生以上で、抹茶接待が付く。



（北島寛之）

京都新聞 （地域・総合） 2009年（平成21年）4月5日（日）朝刊



© 2009-2013 Yoshinari Akazawa Kyoto, Japan
http://yoshinariakazawa.com

2007 『' ILLUSION' 第5回 カプフェンベルグ国際陶芸ビエンナーレ』
カプフェンベルグ美術館（カプフェンベルグ, オーストリア）



2004 個展『さくら』

ギャラリー島田 deux (神戸)



2013 © Yoshinori Akazawa Kyoto Japan
<http://yoshinoriakazawa.com>



2013 © Yoshinori Akazawa Kyoto Japan
<http://yoshinoriakazawa.com>

2004 個展『WILD FLOWER 〜花』ギャラリーコピス（東京）

